毎月 一回 15日
定価 1部 5円
発 行 所
中里村公民館
現在人口
男 4,590
女 4,605
計 9,195
世帯数 1,682

役場機構改革なる
二月五日付課制しく

中里村役場では、中部町村合併の結着を機に、役場部内の事務集中、合理化を計ることを目的に、議会を経て、二月五日付で次のような機構改革を実施した。

大要は課制を設け、従来分散していた類似業務を統括し、命令系統の確立と人事の若返りを画している。

課等の主なる事務及び人事

▽企画課
一、長の秘書的事項に関する事項
課長　富井喜重
滝滝満重郎、滝沢正巳、井之川友一、滝沢ハマ

▽行政課
①職員の進退及び身分に関する事項
②議会、選挙及び村の行政一般に関する事項
③村の歳入歳出予算、その他財務に関する事項
④戸籍及び住民登録に関する事項
⑤統計、広報、条例の立案、その他、他課に属しない事項
課長　志田義三郎
阿部安栄、鈴木寛巳、高橋念江口徳一、鈴木善雄、柳秀子、南雲紀子、村山正光

▽産業建設課
①農業、工業、商業、林業及び水産業に関する事項
②農地関係の調整に関する事項
③物資の配給に関する事項
④道路及び河川に関する事項
⑤住宅及び建築に関する事項
⑥水道事業に関する事項
⑦農業共済に関する事項
⑧国土地籍調査に関する事項
⑨その他産業及び土木一般に関する事項
課長　高橋文平
樋口定徴、鈴木与八、村山孝平、服部輝雄、柳栄久、柳英作、斎藤正孝、井之川福一、高野荘一、上原秀子、竹藤嘉寛、滝井昌寿、富井一男、藤田睦、阿部ミツ井、南雲辰巳

▽税務課
①村税及び税外収入に関する事項
②家屋、地籍に関する事項
③その他税に関する事項
課長　山田正平
上原千代の、南雲孝徴、上原康義、樋口より、村山韶平、樋口もと

▽社会厚生課
①社会福祉に関する事項
②社会保障に関する事項
③保健衛生に関する事項
④国民年金に関する事項
⑤国民健康保険及び診療所に関する事項
⑥保育所に関する事項
課長　小柳定夫
井ノ川博、樋口信治、南雲千代子、大島康、井ノ川洋一郎、鈴木卓郎、村山しずな、羽鳥ヨリキ、樋山ミサオ、樋熊順子
（診療所）後藤千之、山崎一夫吉楽フサ
（保育所）阿部ミヨ、保坂サト樋口ノブ子

▽収入役室
①現金出納及び決算に関する事項
②物品出納に関する事項
室長　鈴木敏雄
江口ツヤ、井ノ川カツ

▽教育委員会事務局
①学校教育に関する事項
②社会教育及び公民館に関する事項
教育長　村山軍英
上原隆平、鈴木カツミ、樋口和一、羽鳥直嗣、滝沢貞一

▽倉俣連絡所　高橋正巳
▽貝野連絡所　村山慎吾

第一回臨時村議会開かる

去る二月二日開催された第一回臨時会は村条例の新設、改正、各会計の追加更正予算の検討を中心におゝむね次のような議決がなされた。

一、村税条例の一部改正

本年四月一日から村民税の扶養者に係る税額控除が、第一順位に限り六〇〇円（旧二〇〇円）に引上げられたこと。又青色専従者は八〇〇円（旧四〇〇円）、事業専従者は七〇〇円（旧三〇〇円）に各々引き上げられたこと。

固定資産税においては税率を一・八％（旧一・六％）に引上げること。

二、課設置条例の制定

別掲のとおり

三、職員給与条例の一部改正

人事院勧告にもとづくベースアップ、暫定手当の新設、その他諸手当の改革がなされたこと

四、各会計追加更正予算

（単位千円）

▽一般会計（追加）三、四五七
（累計）一二五、八一〇
給与改訂による人件費、事業費の整理的追加更正。

▽簡易水道会計　二七七
（累計）五、四一三
工事費請負差額、公債費の減少

▽農業共済会計　七〇六
（累計）五、四二一
被害減少による共済金の更正

▽国保事業会計　三三二
（累計）一七、二三八
職員給及び保険給付費の追加

▽国保施設会計　七九
（累計）三、一五六
医薬品購入費追加

五、請願審査の結果報告

▽倉俣農業倉庫新築に係る助成の請願　採択
▽本麗敷若杓溜池改修に係る助成の請願　採択

六、請願、陳情

▽貝野診療所の開診に関する請願　採択
▽田中環境衛生モデル地区に対する助成の請願　採択

村奨学資金

貸与希望者受付中

—二月末日まで—

中里村育英事業委員会では、昭和三十八年四月からの村育英資金貸与希望申込みを次の要領で受付けております。

❶申込み資格
高等学校を卒業した者。又はこれと同等以上の資格を有する者で、大学入学を希望している人。又は現に大学在学中の人。

❷貸与予定人数
五人以内

❸申込み方法
貸与希望者は、次の書類を添えて二月末日までに、村育英事業委員会に申込んで下さい。
〔イ〕資金貸与願＝二通
〔ロ〕身分証明書＝一通

なお、詳しいことは教育委員会にお尋ね下さい。

雪崩と火災にご注意!!

二月中下旬ともなれば、大雪の降るおそれも少なくなりますが、暖気になると雪崩れの発生しやすい季節になります。役場警察署、消防団などでは、これから春先までの雪崩れや、火災などの事故防止について村民の協力をよびかけています。お互いに注意しましょう。

◎屋根雪降しの励行
◎住宅から道路までの道踏み励行
◎隣接家屋との連絡確保
◎停電時の備えに蓄買の準備
◎火気の取扱いに充分な注意

県外研修の旅から

高橋信雄

昨年の夏、約一ヵ月の日程で、北海道へ県外研修生として行ってまいりました。県でこの事業がはじめられてから四年目で、私達は四回目の研修生ということであった。いままでは、その派遣先は主に関東方面だったのだが、今年度はおもむきをかえて、北海道に派遣されることになったのだった。新潟市にある「県青年の家」での三日間の事前研修の後、七月十六日の朝青森行き急行「日本海」で北海道に向って出発した。一行は引率者二名、研修生三十名（男二十八名、女二名）である。

◉札幌市とその周辺見学

翌十七日早朝に札幌に着く。一昼夜の強行軍だったので午前中は休養。午後から道庁の方々から現地の概況について教わる。市内見学はさておいて、町村（まちむら）牧場と酪農大学見学について少し述べようとおもう。町村牧場は札幌の隣、江別市にあり、道内でも五指に入るトップクラスの牧場で、百頭余乳牛がいる。この中に全国的にもトップクラスの能力牛が何頭かいる。乳を搾ることよりも良い牛を作り出すことに主眼があるようにさえおもえた。放牧はせず日中だけ運動場に出す。この柵の中に私達が三十名もワイワイと入ったのであるが、牛はいっこうに動じる気配もなく、恐る恐る近よってさわってみるが知らぬ顔をしている。何十頭の牛がそうなのだからおどろき入った。その上、夕方出口の柵をとるとノッソリノッソリ自分の牛舎に間違いなくもどって行く。いかによくしつけられているか牛に教えられた。またこの飼料には良質の乾草が多く使われていた。何十町歩もある牧草畑に一面にルーサンが繁っていた。ルーサンは牧草中、最も栽培が難しいとされている。にもかゝわらずこれだけ立派な牧草畑があるのは町村家の先代からの土地改良の努力のたまものであるとのことであった。これだけ立派な牛と頭数のあるのは、米国でもA級の上に入るとのことである。町村の歴史は五十年あり、その長年の努力が今日を生みだしたのであることを教えられた。その後道内をまわってみても酪農家のすべてが、酪農家といわれるまでには十年の年月が必要だと話していた。

酪農大学は、市街地からずっと離れたゆるやかな丘の上の緑の中に、色とりどりのモダンな建物をならべ、西欧の絵でも見ているような感じである。北海道はどこに行っても西欧風な建物が見られ、また住宅の色彩が目だつ。ここの学長が郷土の出身者であることから歓待される。学長が一行を応接間に招じて、熱弁で話されたことは特に印象深いものがあった。その要旨はおよそ次のようなものであった。「農民の生活を向上させるには、農民がもっと積極的に政治に参加することが必要である。それにはまずもって農民がもっともっと団結していかねばならない。全国の農民が団結したならば、農政は農民のための農政になるはず、農民の意識の低さが現在の生活を貧しくしているもっとも大きな原因である。現在の政治家の中にほんとうに農民の代表たる人が何人いるだろうか。国に於いて、県に於いて……。農民は、もっと団結して自分達の要求を政治に反映すべきである。団結して要求することは争いではなく、あくまで民主々義のルールにのっとって話し合うことなんだ……」というようなものであった。

（以下次号）

なかさと文芸

中里村俳句会

二月投句

桂仙
凍結をのがれんとして水急ぐ
丈余の雪支うる岩に氷柱垂れ
雪積る家まろやかに藁砧
雪けわしくの字の老の咳落す
雪晴れの山系跨ぐ飛行雲
雪の村鶏啼くこえを屋根に聞く
雪咲いて秘境の如し朝光げ
一業に生涯結て雪に栖む
大泉
目さむれば唯時きざむ音三ヵ日
三ヵ日早や作業衣になじみなり
何鳥か一声高く寒の月
天来子
追込みの受験子の灯を愛しめり
売るも買うも皆ちゃんちゃんこ雪季市
ちんころの細工楽しみ雪季市
雪季市買うあてもなく唯歩く
紫峰
南枝咲き北枝は寒き風情かな
往診の庭に一輪梅の花

俳句

貝野中三A　南雲晴司
木枯しを耳にぶつけて冬来る
吉楽　正
吐く息の白さに見ゆる寒の入り
青山芳丸
冬山の見知らぬところ悲劇あり
山田ミヨ子
正月や雪下の枝の芽も堅し
二B　柳　照子
大雪にならずに春へと願かけり
南雲市郎
出初め式ポンプにそりをつけにけり
三A　関　シノ
風邪親子診察椅子に掛けかわり

短歌

貝野中三A　青山芳丸
音たててあられ降る道水びたし積っては消えついに積る
吉楽恵子
いそぎゆく姉の足あと消すように雪がひとしきり積る七草
吉楽　正
冬の夜遠くで犬の声やめば後に襲うは長い静けさ
三B　高橋清子
太陽にまぶしく光る屋根の端冷たく細かいツララ並べり
南雲春良
雪のない正月迎え婆さんは昔もあったとおろに言い出す
井ノ川早苗
不似合の部屋にテレビが光りあり競争の激しさ思わせるかな
吉楽静枝
冬の日の青空めがけて布とんほすしあわせそうな母さんの顔
南雲昌子
リンゴむく手のみにくさよナイフ投げやはりこのまま食べんと噛じる

槌の音

じろ端談議

「いろり火近く縄なう父は、すぎし昔の思い出語る。いろ火とおろく外は吹雪」なんとなつかしい雪国の歌であろう。私は、冬の生活にとって忘れ得ないじろ端について考えてみた。

◇楽しいじろ端をつくりたい

じろ端は老人にとって現在までの努力の後をしのぶとともに過去を美しく語る場である。

父母にとっては、春に備え一切の準備をする場であり、子ども達をしつけるなど家庭教育の場である。子ども達にとっては、祖父母から過去の姿を聞き父母からは、現実の姿をまざまざと見聞きし、やがて巣立つに必要な準備を体験する場である。じろ端には赤い火が燃えて世代を異にする親子や孫が、水入らず理屈ぬきに話しあっている。これでよいのだ。じろ端は一家団欒の場であるとともに、子どもにとっては楽しくなつかしい思い出をつくる場だ。じろ端に悔のない生活を送った子どもこそ、将来親を思い郷土の発展を願う大人になるのではなかろうか。

◇よい意味の社交場として

じろ端は、雪にとざされた中里にとって、近隣相集い老若男女の別なく夜を徹して語らう場でもある。それでよいのだ。このむつみ会う気持をすべての面に生かしてこそ民主政治が成り立つのだ。「善きことは、見ても聞きても悪しきこと見ざる聞かざる言わざるぞよき」じろ端談議でありたい。

◇じろ端を村づくりに役立たせたい。

じろ端は、気楽に話しあうなかにも家庭経済の問題、農業技術の問題、これからの農村のあり方など有意義にして建設的な意見が出ることを知っている。話題が出るだけでは進歩発展がない。更にこれをおしすすめる必要がある。毎日の新聞ラジオは幾多の研究材料を提供してくれる。各人が先生になるもよし、また技術者を迎え指導をうけるもよかろう。前向きの姿で一歩一歩前進することが大切なのである。

かく考えた時、じろ端を再認識し、じろ端会議を活用することによってあかるく楽しい村づくりが出来るのではなかろうか。（三井田立身）

嫁のきての「ない農家」

よく話題にのぼることの一つに、農家に嫁のきてがないという問題がある。一生独身でいる者もあるまいが、仕方なく、でなければ嫁がないのでは大変なことだ。何故農家の嫁になりたがらないのか。

「結婚しても主人が勤めに出たり、出稼ぎに行ってしまい主人と離れて農業をやるのは嫌だ」

「農家の生活がよくなっているといっても、まだ他の職業にくらべて低い」

「農家は若夫婦だけの時間や、部屋がない」

「休日もはっきりしないし、労働時間も長すぎる」

等々が話されているが、この中には、自分たちのところがけや努力によって、改善されることもあろうし、またある程度どうにもならない問題もある。

結婚しても、主人が勤めに出たり、出稼ぎに行ってあとを一人であるいは親たちなどと農業しなければならない。これは大きな問題だ。だから農家に嫁に行きたがらないというのは無理もない。では何故農業だけでやっていけないのか。結局、農業収入が少ないので出稼ぎ等の農外収入を得なければ、程度が低いといわれる今の生活でさえも維持できなくなるからである。これはいわれるまでもなく充分承知な筈である。

農業収入の少ない原因は何か。いろ〳〵な点があげられている。自然的条件の不良、経営規模が零細、したがって近代的農業が出来難い。農産物価が安く、しかも不安定。これにひきかえ農業資材や生活物資は高い。農業を近代化したり、合理化するためには相当な資金が必要であるが、現在の農業関係の資金はまだ高率で、農畜産物価では返済に容易でない。結局、資本いらずに手っとり早く金になる出稼等の仕事でということになる。

中部地区の農家一戸当り平均耕地面積は、田四十八アール、畑三十九アール、計八十七アールであるが、この程度の経営規模だと、経済的には昔ながらの零細農業の手作業が適当で、それはそれなりに調和のとれた農業の体系をなすとも考えられるが、これではやっぱり生産性（特に労働生産性）が低い。とにかく兼業に携さわらなければやっていけない農家が多くなってきているし、これからもますます多くなっていくであろう。

産業別就業者の動き中里村

調査年月日	総数		第一次産業		第二次産業		第三次産業	
	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
昭35.10.1	4,646	100.0%	3,279	70·6%	553	11.9%	814	17.5%
昭30.10.1	4,799	100.0%	3,487	72.6%	565	11.8%	747	15.6%
差引増減	△ 153		△ 208		△12		67	
増減率	△3.2%		△ 6.0		△21			

総人口の減少率（七・一％）に比較して、就業者の減少率（三・二％）は少ないが、産業構造からみると第一次産業（農林業）において最も高い減少率（六・〇％）を示している。専業、兼業別農家数は、次表のように、わずか一年間に専業農家は約半数に減少し、兼業農家は第一次、第二次ともに五十〜六十％増えている。

種別	昭和34年		昭和35年		34年対35年%
	戸数	比率	戸数	比率	
専業	574	46,2	236	18.4	47.1
第一種兼業	511	41.2	811	63.2	158.5
第二種兼業	156	12.6	236	18.4	151.2
兼業計	667	53.8	1,047	81.6	156.9
合計	1,241	100.0	1,283	100.0	103.4

次に農家年間一人当り家計費を見てみよう。当地区某部落の四戸は次のようになっている。

農家別	経営規模	家族人員	1人当り家計費
A農家	1,01㌶	6人	50,900円
B農家	1.16	7	54,400
C農家	0.55	4	62,200
D農家	0.95	6	62,700
平均			57,000
昭和35年県農家階層別平均	0.3未満		61,639円
	0.3〜0.5		66,449
	0.5〜1.0		60,340
	1.0〜1.5		59,195
	1.5〜2.0		62,650
	2.0以上		76,296
県農家平均			63,706

以上のように地区の四戸平均は、県平均に比し六千七百円も少ない。県の階層別の家計費を見ると、一㌶以上は規模が大きくなるにしたがって、家計費は多くなっているが、一㌶以下がかえって多くなっている。一㌶から一・五㌶が一番少ないが、これは農業を離れての兼業収入も少ないし、農業収入も少ないからこの程度の生活費になってしまうのであろう。一㌶以下は農業収入は少ないが、兼業収入が多いから家計費も多くなっているのだと思う。

このようなことからも農業が如何に不利であるかがわかる。随分、悲観的な話になってしまったが、誰もこれでよいという者はないであろう。集りのたびごとにどうしたらよいか話し会っていることとおもうが、冬の期間にしっかり研究してもらいたい。普及所も出来るだけの協力をいたしたい。主体はあなた方です。共々に嫁のきてがあって困るような農業と農家をつくるべく努力しましょう。農業日本一の園芸部門の一位は百五アールの経営で、年間粗収入三百五十万円を実現したという。環境条件は悪いといってもやり方によっては現在よりは数段よくすることができるのではないでしょうか。

（中部地区農業改良普及所）

山林貯蓄をしましょう

一、造林には次の四種類があります。

①再造林〜伐採前針葉樹

②拡大造林（原野）〜原野

③拡大造林（林転）〜伐採前広葉樹

④階段造林〜段切（面積は二十アール以上）

二、補助率

①再造林は事業費の三十%

②拡大造林は事業費の四十%

③階段造林は事業費の六十%

三、国の補助対象

①一般造林は五アール以上

②階段造林は二十アール以上

③五アール未満一アール以上は村費補助

四、毎年三月末日までに造林計画を役場へ提出する。もし届けもれ等は、八月末日迄に提出する。それ以降は認めない。

五、肥培管理

山林肥料は二種類ある。

①マルヤマ固形肥料②住友森林一号（粒状）

六、施肥方法

①マルヤマ固形肥料は穴掘作業が必要（穴三ヵ所）

②住友森林一号はパラマキ

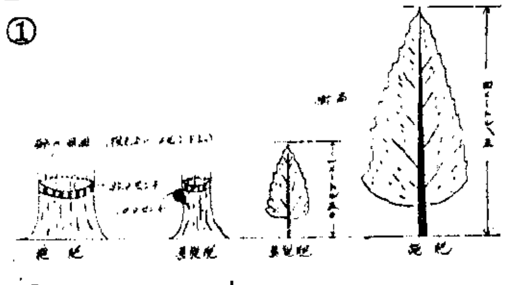
労力は余り差がありませんので労力面からパラマキがよい

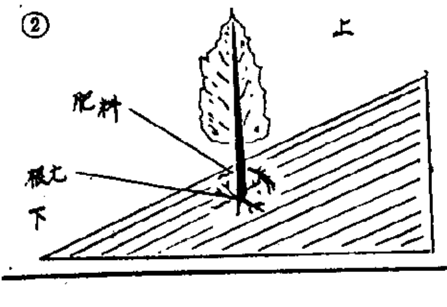
七、施肥時期

五月から六月下旬頃までが最適当です。

八、施肥量

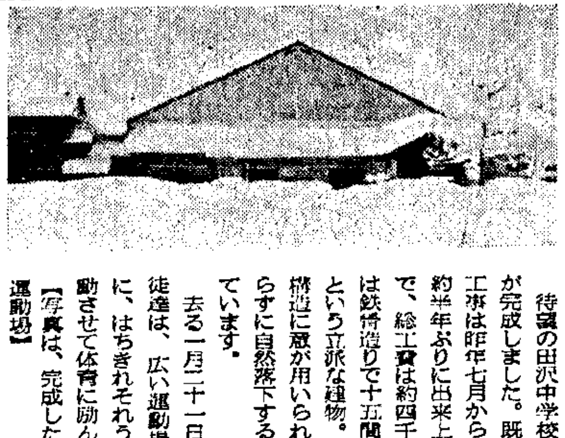
①住友森林一号は軽く一握り（約十匁）

①


②


（三面へ続く）

田沢中の屋内運動場完成



待望の田沢中学校屋内運動場が完成しました。既報のように工事は昨年七月からおこなわれ約半年ぶりに出来上がったもので、総工費は約四千万円、本屋は鉄骨造りで十五間×二十五間という立派な建物。特に屋根の構造に意が用いられ、降雪が積らずに自然落下するようになっています。

去る一月二十一日から同校生徒達は、広い運動場を一ぱいに、はちきれそうな若さを躍動させて体育に励んでいます。

【写真は、完成した田沢中屋内運動場】

人生往来

◎産声

子のなまえ	父の名	部落
高野　勝	芳夫	如来寺
片岡　智行	一夫	山崎
樋口　正明	忠蔵	白羽毛
村山　浩	辰治	鷹羽
村山　和幸	伊三郎	白羽毛
山本　晴子	剛雄	東田尻
樋口　敏夫	正	干溝
竹藤　仁	博一	芋川
滝沢　良夫	照夫	屋地
山田　洋子	晃	宮中

◎御冥福を祈る （三八・一月中）

上原　ケサ	（八八）	通り山
上原　高次	（七九）	上山
江口　清吉	（七四）	上山
滝沢　寅平	（七二）	田中
滝沢福一良	（六九）	田中
山田福三郎	（六五）	清田山
根津　一正	（六五）	芋川
太島　徳松	（八五）	牧畑
徳井藤太郎	（八二）	堀之内
保坂　マス	（六〇）	宮中
吉楽　ハナ	（五八）	宮中

体育行事のお知らせ

雪の中に閉じこめられ、運動不足になりがちな冬の生活を、スポーツで楽しもうと、中里村体育協会では三月下旬までに、次のような行事を開催する計画を立てています。大いに参加して下さい。

▼スキー教室

毎週土曜日午後一時より

山崎神社裏山スキー場

講師　田沢中　吉川修先生

受講料無料

▼柔剣道大会

日時　二月十七日午前九時

場所　田沢中学校体育館

種別　有段者無段者別各個人戦、団体戦

▼村民スキー大会

日時　二月二十四日午前九時

場所　山崎神社スキー場

種別　滑降、距離、回転

小中学生、青年一般

▼村民親睦卓球大会

日時　三月三日午前九時

場所　田沢中学校体育館

種別　個人戦及び職場チーム対抗、小中学生、一般

▼村民排球籠球大会

日時　三月十日午前九時

場所　田沢中学校体育館

種別　職場チーム対抗

▼鷹羽スキーツアー

日時　未定

▼野球講習会

日時　未定

なお、各行事とも詳細は事務局（公民館）から職場又は団体へ開催要項をお届けいたします。

みんなの商工会

法制化された商工会が発足してから、すでに三年を経過しました。その間、各位のご協力にますます発展しつつあることをよろこんでおります。

さて、商工会の事業につきましては、すでにご存知のことと思いますが、現状と今後の課題などについて述べ、皆様のご理解と一層のご協力をいただきたいと思います。

◇経営相談

全国市町村の商工会に経営指導員が置かれ、商工業者の経理相談、経営診断、税理問題等の指導にあたり、また各種講習会を開催したり、各店舗を訪問して帳簿記帳の指導や、陳列品の配置問題等の相談に応じています。気軽に指導員を利用して下さい。

◇金融あっ旋活動

現在、当商工会が行なっている貸付事務は、民間金融機関を扱っており、割賦返済（一ヵ月賦五回返済）は、前回貸付総額（十二月現在）四百六十五万円。短期返済（二ヵ月）貸付総額六十五万円。これらは預金のある方に、預金額に応じて貸付けているわけです。借入利息は二銭二厘です。その他、産業育成資金、国民金融公庫貸付け等も行なう予定になっています。納税貯金もますます成果をあげております。

◇失業保険の加入

当商工会に、失業保険事務組合を設けていますので、各商工業者に於いて一人以上十五人未満の従業員を雇用している方は是非加入をおすゝめします。詳しいことは、事務所へおいで下さればご説明します。

◇商業研究クラブの運営

各方面の経営形態や、各自の今後の方針などについてグループ研究し、積極的な商法を学習しようということですが、これは商工会とは別な、自主的な経済研究グループで、側面から資料を提供したり、指導者を心配していくということになっています。毎月一回、二十五日公民館で定例研究会を開きますので希望者は入会をおすゝめします

その他、商工店従業員の方々の店員会（仮称）もつくりたいと目下研究中です。また、生命保険の事務代行も行なっていますが、今後は、健康保険、厚生年金等も各商工業従業員に適用したいと研究しております。紙面の都合で現況にとどめましたが、今後も皆様とともに研究し申請していきたいと思っております。（経営指導員　江村春夫）

贈与税の申告と納税について

二月は贈与税の申告と納税の月です。次の方は二月末日までに申告と納税をして下さい。

❶昭和三十七年中に親族その他の個人から財産をもらった方でその合計額が二十万円を超える方。

❷昭和三十七年中に十万円を超える財産の贈与を受けた方で昭和三十六年または昭和三十五年中にも同じ人から十万円を超える財産の贈与を受けた方。

贈与を受けた財産の評価方法については、贈与を受けたときの時価によることとなっておりますが、税務署では財産の種別に標準的な評価価格とその評価方法を定めていますから、評価額が不明の場合は税務署へご相談下さい。

田（自作地）旧賃貸価額の五千五百倍

畑（自作地）旧賃貸価額の七千七百倍

山林原野（自作地）旧賃貸価額の一万八千倍

家屋　市町村の固定資産税評価額

贈与税の延納制度について

期限内に申告しかつ納付する税額が三万円を超える場合で、一時に納付することが困難な理由があるときは、申請により五年以内の年賦延納をすることができることになっております。

（十日町税務署）

（二面よりつづき）

②マルヤマ固形肥料は七個いずれも一年生基準で一年経過するごとに約二十%増す。

九、成分比

チッソ一五　リンサン八　カリ八

十、施肥無施肥比

図1参照

十一、施し方

図2参照　パラマキは根元の上方へ半円型にまく。

なお肥料申込みは、三月二十日までに役場係に申込んで下さい。

（産業建設課）